



## ～コラムコーナー～

# SNS による性被害に

# 遭わせないために

警察庁の統計によると全国的に SNS に起因する犯罪被害児童・生徒数は年々増加する傾向にあり、その中でも性被害に遭うものがほとんどを占めています。性被害は子どもの心に一生消えない深刻な傷を残してしまうこととなります。被害を防ぐためには子ども達への SNS の正しい利用に関する教育が大切です。

### ◎ SNS による性被害にはどのようなものがあるのでしょうか？

#### ○児童ポルノ被害

- ・自画撮り被害：裸の写真等を要求され送信してしまい、それをネタに脅される
- ・リベンジポルノ：元交際相手から逆恨みされ、裸の写真等をネット上に拡散すると脅される

#### ○児童買春被害、未成年誘拐被害

- ・援助交際、パパ活・ママ活：SNS で知り合った人に言葉巧みに誘い出され、直接会ったところ、ホテル等に連れ込まれて被害に遭う

#### ○ストーカー被害

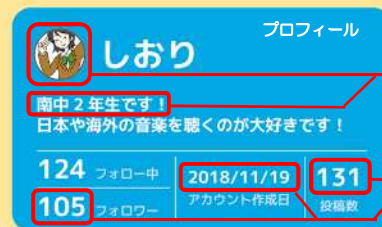
- ・ストーカー被害：SNS に投稿した写真から自宅等が特定され、知らない人に付きまとわれ、脅され、被害に遭う



### ◎ SNS の利用上の注意点

#### ○SNS 上のプロフィール等はなりすましの場合があります

- ・相手の本当の姿は分からないため、SNS で知り合った相手とは気軽に会わない

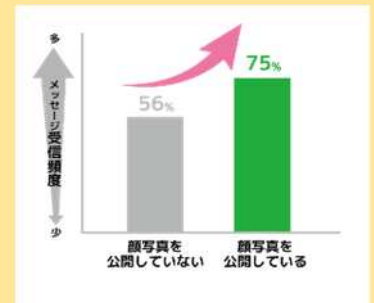


本当の顔や年齢？

どんな人がフォロワー？  
どんな投稿をしている？  
いつから利用している？

#### ○SNS を利用するときは・・・

- ・公開した写真や動画は第三者が勝手に保存や拡散できてしまうため、インターネット上から完全に消去できないことを認識する
- ・顔写真を公開することで知らない人からのメッセージが多くなったり、また、自宅周辺の写真を公開すると風景や位置情報から自宅が特定されたり、制服から学校が特定されてしまう危険性がある



#### ○性的な画像を撮ったり、送ったりしない

- ・人に見られて困る写真（裸や下着姿）は、どんな理由をつけられても絶対に「撮らない、撮らせない、送らない」

(出典：青少年のネット利用実態把握を目的とした調査)

被害の相談を受けたときは・・・

- ・まずは警察に相談する
- ・被害を受けている証拠を残す（スクリーンショット等で記録する）
- ・「ブロック」や「通報」等の機能を使用して対応する
- ・ネット上の削除依頼は速やかに行う（時間が経つほど拡散してしまう）

